

韓国へ1000人のメガ・ファムツアー 国交正常化50周年に向け観光交流拡大で弾み

JATAは来月、韓国への旅行商品販売の気運を高めるため、1000人規模のメガ・ファムツアーを実施します。日韓国交正常化50周年に向けて弾みをつけるメガ・ファムツアーへの期待について、JATA海外旅行推進委員会の二宮秀生副委員長と韓国観光公社の康重石 東京支社長に語り合っていました。

自信を持って「韓国」を勧める機会に

——韓国へのメガ・ファムツアーへの期待をお聞かせください。

二宮 訪韓日本人旅行者数の長期低迷が続いており、円の独歩安となつていく為替の問題などだけで説明できる状況ではありません。日本人の間では「韓国へ行くても歓迎してもらえない」というマインドが強まっています。旅行会社としても、「今のタイミングでは、取って韓国を売らなくとも、他の DESTINATION を勧めておこう」という対応になりがちです。今回のメガ・ファムツアーを通じ、韓国の多くの人が歓迎してくれることを実感し、旅行者に自信を持って韓国という DESTINATION を勧めるようになって欲しいと考えています。

康 旅行業界の皆さんに自らの体

験を通して韓国の状況を実感していただくことは、非常にありがたい話です。訪韓日本人旅行者数は、昨年の前年比23%減に続き、今年も9月までの時点で前年同期比17%減にとどまっております。今年は「昨年の水準を40%ほど下回る見通しです。韓国と日本の間では、政治的に厳しい状況が続いており、関係修復には時間がかかるかもしれませんが、まず、民間の旅行関係者ができることから取り組む姿勢が大切だと思います。

——来年の日韓国交正常化50周年については、どのようにお考えですか。

康 私は韓日国交正常化40周年の時にも、日本支社の支社長を務めていましたが、当時は「共同訪問の年」として、日本への韓国からのインバウンド拡大もテーマとなりました。まだ、観光庁が発足する前の段階でしたが、今回は、外務省だけでなく、観光庁も軸となつて、様々な施策が

国交正常化50周年で 官民プロジェクト

——来年の日韓国交正常化50周年については、どのようにお考えですか。

康 私は韓日国交正常化40周年の時にも、日本支社の支社長を務めていましたが、当時は「共同訪問の年」として、日本への韓国からのインバウンド拡大もテーマとなりました。まだ、観光庁が発足する前の段階でしたが、今回は、外務省だけでなく、観光庁も軸となつて、様々な施策が

韓国メガファム対談

◎韓国観光公社 (KTO)
東京支社長・康重石氏

◎JATA 海外旅行推進委員会
副委員長・二宮秀生氏
(ジャルパック代表取締役社長)

こういう時こそ旅行業界 の役割発揮が重要

——JATA会員の皆さんへメッセージをいただけますか。

二宮 日本の旅行会社が果たすべき役割のひとつは、「旅の力」を具現化することであると思います。文化、交流、健康、教育、経済という5つの力は、世界平和にも通じる底力を持つものです。

そのためには、一人でも多くの人に旅へ出ていただけるような提案をしていかなければなりません。韓国という DESTINATION は、ソウルも地方もまだまだ掘り起こすべき魅力を秘めており、今回のメガ・ファムツアーは、それを確認する貴重な機会となるはずだと思います。

康 旅行業界の場合、ビジネスだけを考えると動いてはいけないと昔から思っています。二国間の政治関係が良くない時でも、旅行業界が真ん中に入つて平和や文化交流の働きかけをしなければなりません。旅行業界が責任を持って動いて、一般の皆さんが旅行できるようにすることこそ、旅行会社の義務だと思います。韓国の旅行業界も、日本の旅行業界も政治に負けてはいけません。こういう時期にこそ、旅行業界の役割が問われていると考えています。



JATA 海外旅行推進委員会 二宮秀生 副委員長



韓国観光公社 康重石 東京支社長